

協働事業評価シート

部課名	福祉部 子育て支援課	記入年月日
記入団体名	NPO法人ファミリーねっとスマイリ	平成22年12月22日

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	クリスマスすまいるコンサート	
協働事業の概要	尚美学園大学リハティベルオーケストラ、スマイリ劇団、川越MAMASINGERSによるミュージカルや、子どもたちへの指揮者体験を組み入れた参加型コンサート等を実施した。 【クリスマスすまいるコンサート】 ○実施日時：平成22年12月20日（月）午後1時30分から午後3時まで ○実施場所：川越西文化会館（メルト）大ホール ○入場者数：501人（親247人、子254人）	
協働事業の決算額	103,000円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成22年12月20日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	3	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	4	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	3	3.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	4	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	4	4
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	3	3.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	55.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 今回、入場料を無料にしたことや子どもたちが参加できる内容になっていたこともあり、大盛況であった。 アンケート調査においても、好評を得ており、効果的に子育て中の親子交流や情報交換等の場を提供することができたと考えている。 しかし、事業費については、補助金に頼る部分が多く、ボランティアの活用等を検討する必要があると思う。また、市担当課についても、同種のイベントを行っている所管との協働等を検討する必要があると思う。</p> <p>【市民活動団体等】 今年は入場料を無料にしたことで、予想を超えた入場者を迎えることができた。 子育て中の親子に限らず、高齢者の方も当日歓迎し、より多くの方に楽しいひと時をみんなで共有できた。アンケートにおいても「楽しかった」、「今後も継続してほしい」などの声が多数寄せられて、多くの方の満足度と当団体に期待するものが大きいと感じた。出演者、スタッフにも達成感もてたことで自信にもつながった。 この事業は赤字だけどやって良かったと思いたい、やらなきゃいけないとも感じている。これから元気になるイベントを提供していきたいと思う。</p>
--

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

<p>【事業に関するコメント】 事業のアンケート結果などから継続意向が多く、評価されていることがわかります。 大勢の親子が集まるイベントなので、子育て支援の情報提供等の企画もあると、より良くなるのではないかと思います。</p>
--

協働事業評価シート

部課名	市民部 市民活動支援課	記入年月日	平成23年3月2日
記入団体名	NPO法人川越市北部地域ふれあいセンター運営協議会		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	「山田地区伝統芸能まつり」と地域交流		
協働事業の概要	○平成22年9月～ 地元の伝統芸能団体が自治会館や北部地域ふれあいセンターで、地域の子どもに稽古を開始し、技術伝承を行った。 ○平成23年2月27日（日） 『山田地区伝統芸能まつりと地域交流』を開催 気軽に地域住民が参加できる場を設け、技術伝承を発表する場とした。 ・開催場所：川越市北部地域ふれあいセンター ・参加者数：300名程度（参加団体を含む。） ※参加団体（出演団体順） 石田囃子連、上寺山ささら獅子舞、府川はやし連、石田ささら獅子舞、北山田囃子保存会		
協働事業の決算額	151,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年9月～平成23年2月27日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	4	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	4	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	67点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>昨年度に引き続き、同じ時期に事業を実施されたことにより、地域住民に定着した「山田地区伝統芸能まつり」となってきたのではないかと思います。 また、協働事業の実施によって、地域に根づく伝統芸能について地域住民の理解もより深まったのではないかと思います。 さらに、稽古・練習を通して“地域の子どもたちへの伝統技術の伝承”も行われているため、地域で活動する伝統芸能団体そのものの活性化にもつながるものと考えています。 このような地域に根ざす、地域コミュニティ活動を促進させる事業について継続的に実施していただきたいと思います。</p> <p>【市民活動団体等】</p> <p>事業全般を通して、地域コミュニティ活性化につながる自主的な事業が実施でき大変満足できるものとなった。 山田地区に伝わる伝統芸能を後世に引き継いでいくため、今後も継続して実施していきたい。</p>
--

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>地域の伝統芸能が継承されず、忘れ去られていくと地域の魅力を失ってしまいます。 地域の伝統芸能の技術の伝承を行う本事業は、非常に地域の魅力を維持する上で有意義です。 川越市全体において必要な事業であり、広がりを見せてほしいと思います。</p>		

協働事業評価シート

部課名	産業観光部 中心市街地活性化推進室	記入年月日	平成23年1月22日
記入団体名	川越織物市場の会		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	開設100周年記念「川越織物市場・魅力・再発見」事業		
協働事業の概要	<p>○ビデオ作成（織物編、建物編の2つ作成） 織物編 「織物の産地としての川越」の歴史的、文化的、経済的意味を明らかにするビデオ 建物編 旧川越織物市場の建物の歴史的、文化的価値を説明するビデオ</p> <p>○シンポジウムの開催 日時 平成22年11月27日（土） 13:00~15:00 場所 旧川越織物市場（川越市松江町2丁目11-10） 総合司会 福田喜文（川越織物市場の会） パネリスト 田村均（埼玉大学教育学部教授・織物史）、伊藤吉信（協同組合 伝統技法研究会・建築家・自由建築研究所主催） コーディネーター 小島延夫（川越織物市場の会・早稲田大学大学院講師・上智大学講師） ・ビデオ上映後、パネルディスカッション（ディスカッションには、川越工業高校の教員等も参加） ・参加者は70名</p>		
協働事業の決算額	190,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年7月11日～平成22年12月20日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	4	4
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	4	4.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	5	5	5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	64点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 川越織物市場の会については、定期的な見学会を実施したり、市の事業に合わせたイベントを行う等多くの方々に旧川越織物市場を知る機会を数多く設けている他、旧川越織物市場の保全・保存活動を長年行っている団体である。 今回の協働事業は、旧川越織物市場開設100周年に合わせた記念事業でもあるが長年蓄積された活動の集約の一つともいえるであろう。今後もこれまでの実績を活かした事業展開を期待する。 また、今回作成されたビデオを今後も活用することにより、当補助事業の効果が継続されることになり、大変有意義な事業であった。</p>
<p>【市民活動団体等】 幕末から明治初期の川越の織物が、イギリスのマンチェスターやドイツ・フランスの化学染料と結びつくなど、その歴史的位置づけが明確になるとともに、川越の織物について、織物業界、川越織物市場、川越工業高校の協働関係も明らかにすることができ、川越の産業史上の位置づけが明確となった。また、建物の価値についても映像による説明を作成することができ、多くの来訪者がその歴史的意義を速やかにかつ深く理解できるようになり感謝されている。 川越織物市場の創建100周年にあたり、その魅力を再発見することができ、また、それを多くの方に広められるような手立て（ビデオ作成）を成功させた。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】 本事業は、織物産地として重要な地位を占めていた川越市の産業の歴史を浮かび上がらせ、市民の理解と保存活動の活性化策として大いに評価できます。 今後は、本事業で作成したビデオ（DVD）を大いに有効活用し、市民はもとより広く伝えていただくことを望みます。</p>		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日
団体名	NPO法人 川越蔵の会	平成23年3月1日
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>

協働事業名称	体験! 川越職人の技	
協働事業の概要	<p>普段余り接点のない職人さんの仕事を体験することにより川越の文化に対する認識を深めてもらい、川越文化の更なる発展に資することを目的に、昨年度実績を踏まえて3回に分けて下記の体験事業を実施した。</p> <p>第1回：9月25日(土)旧織物市場にて「鍛冶職人とのワークショップ」・ペーパーナイフづくり・大鋸での丸太切り体験・鍛冶仕事紹介ビデオの上映等</p> <p>第2回：10月24日(日)旧織物市場にて「大工・庭師とのワークショップ」・鉋削り体験・庭師による竹を使った花器などの小物づくり体験・鉋削りくずを使ったアートフラワー作り</p> <p>第3回：12月12日(日)仲町の公共事業用地(旧笠間支店改修工事現場)にて「左官職人とのワークショップ」・建築現場での左官仕事の見学・土壁塗りの体験</p>	
協働事業の決算額	150,000	円 ※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成 22年 9月 25日 ~ 平成 22年 12月 12日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	4	4
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	5	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	5	4.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	5	4.5

(評価のつづき)

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	5	4.5
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	63.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>川越蔵の会の実施する事業は、行政と関わりのある内容が多く、正に団体と行政の協働事業であると思います。行政側は、その事業内容によって協働の相手先として複数の部署にまたがることもあります。現在の方法では、最終的には1つの課が団体との窓口になっていますが、場所を提供する部署、広報の記事を掲載する部署、備品等を貸し出す部署等にわかれているのが現状です。このようなことから、行政側の協働事業に対する理解と意識改革も必要であると思います。</p> <p>団体側の要望をすべて聞くということではなく、その協働事業が実施団体と行政にとってどれだけのメリットがあり、行政としてどこまで協力できるかなどを計画段階で意見交換等を行うことも重要であると思います。</p> <p>協働は、相互理解のもとに実施するものですから企画段階において関係部署と情報交換を十分にしておくことが大切です。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>今回は、3回に分けて事業を実施したが、その開催場所はすべて官側所有の未活用用地(ただし歴史的価値アリ)であった。民側の開催趣旨及び内容を理解して提供していただいたことに大いに満足するところである。また、広報活動についても大いに役立ったと考えるが、広報での記事の扱い方に検討の余地があると感じた(提案型協働事業ということ、この政策を今後も大いに進めるのであれば、関連する部署にその趣旨を徹底させるとともに、一般的なイベント情報と分けてもよいのではないか)。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

<p>【事業に関するコメント】</p> <p>本事業は、物づくりへ人々の関心が高まる中で、その中心に位置する職人の仕事を体験することを通じて、川越独自の文化に対する理解を深めるといった内容の事業であり、市民にとって有益な事業です。</p> <p>また、事業の実施回数や参加者数も多い点も評価できます。日ごろ市民が体験する機会のない事業であるため、川越にとって重要であると思います。</p>

協働事業評価シート

部課名	福祉部 子育て支援課	記入年月日	平成23年12月12日
団体名	NPO法人川越子育てネットワーク		
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	いのちの出前講座 ～赤ちゃんが学校へやって来る！～		
協働事業の概要	<p>思春期を迎える中学生に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養う。また、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がかうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、川越市内の7つの中学校で講座を実施した。</p> <p>■いのちってすごい（誕生学講演/ビデオ）45分 ■赤ちゃんふれあい&妊婦体験 ふれあい体験と妊婦体験 各15分～20分 実施校及び実施日： ①鯉井10/6（水） ②名細10/15（金） ③砂10/28（木） ④高階西11/2（火） ⑤東11/4（木） ⑥大東西11/8（月） ⑦山田11/25（木） ・参加生徒数：7校計747名</p>		
協働事業の決算額	54,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成 22年 7 月 25 日 ～ 平成 22 年12 月 15 日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりでできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	5	5	5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	5	5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	5	5	5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	5	5	5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数 69 点

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
 今回の協働事業は、学校、中学生、保護者等の理解と協力が必要であるとともにそれぞれにとっての意義や効果が求められるものであると考えられるが、当該市民活動団体においては、内容の検討や関係者への説明等を十分に行いながら事業を実施していただき、大きな成果が上げられたと思う。
 また、市としても、思春期の保健対策等の充実を図るため、同様の事業を「かわごえ子育てプラン（川越市次世代育成支援対策行動計画）」の中に位置付けているが、協働することにより、より効果的かつ効率的に実施できたと思う。

【市民活動団体等】
 まずは、協働のパートナーである子育て支援課にお礼を申し上げます。
 できることを最大限に努力を惜しまず行ってくれたのは、この事業を理解し、必要性を感じてくださったことからこのことだと感謝いたしております。
 お互いが「本当に必要なことだ」と思っており、こんなにすごい効果を上げることができるのだと知りました。
 そして、大切なわが子連れて中学校に行ってくれた赤ちゃんゲストのママ達に感謝します。
 「未来の大人育てに役立ちたい」「子育てしている自分が誰かの役に立つならーそんな思いで、自ら応募してくれたママ達がたくさんいたことに驚きました。
 自分の子どもと触れ合っていてイキイキしている中学生を見たママ達は「子どもを産んでよかった」「社会参加ができた気がする」「達成感を感じる」と前向きな感想をもってくれました。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】
 本事業は、中学生を対象に、いのちの尊さを知り感じてもらうことを目的として行われており、極めて有意義な事業で効果も実際に大きいものであったと思います。
 参加者の満足度や行政のかかわりとも高く、協働事業として円滑に実施できておりますので、今後の事業展開を期待します。

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日	平成23年12月8日
団体名	Peaceやまぶき		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	新井満「千の風になって」 -いのちのうたin川越		
協働事業の概要	「千の風になって」の歌詞・作曲で知られる新井満氏を迎え「平和といのち」についての講演・朗読の会や、公募市民による歌唱のつどいを開催する。 ○フレ企画「千の風」音楽祭兼オーディション 平成22年8月16日（月）午前11時から やまぶき会館 中ホール ・参加者数 約150人（応募者を含む）、公募した団体や個人によるパフォーマンス ○合唱団練習（9/5（日）、9/17（金）、10/2（土）） ○新井満「千の風になって」-いのちのうた in川越 平成22年10月2日（土）午後2時から やまぶき会館 中ホール ・参加者数 508人（フレ企画応募者による合唱団を含む）、 ・新井満さんの講演、朗読、歌唱、川越「千の風合唱団」による合唱など		
協働事業の決算額	-	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成22年 8月16日 ~ 平成22年10月 2日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	3	3
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	3	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	3	3.5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	3	3
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	5	5	5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	3	3	3
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	3	3.5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	3	3	3

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	3	3.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	3	3.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	4	5	4.5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	52.5 点
------	--------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>・今回の事業は、「千の風になって」の作曲家で作家の新井満さんの講演会ということで、参加者も多く集まり事業としては大変満足しているものと思います。特にPeaceやまぶきのスタッフの方には、準備段階から当日の運営まで苦勞されたことと思います。その結果が黒字という形で現れたのではないのでしょうか。今後も、継続していただければと思います。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>・私たちとしては、良かったと思える結果となりました。今回は黒字となりましたが、今後もそうなるとは限らず、助成があるという安心は、事業を進める上で大きな力となります。また、協働事業ということで「平和・文化」という事業に若年層の参加者を募る際の信頼性が高くなったことも非常に大きなメリットだと考えています。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>市民団体が適切な企画をしたことにより、多くの評価を得たのだと思います。講演会や市民の合唱等は大変好評で、最終的に協働事業補助金なしで実施できました。</p> <p>これだけの企画を実施できるノウハウや、入場料収入も相当程度ありますので、PRができれば自主的な事業として実施できるのではないのでしょうか。</p>		

協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課	記入年月日
団体名	蓮馨寺落語会世話人会	平成23年3月3日
予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>

協働事業名称	庶民の伝統文化落語の振興事業	
協働事業の概要	歴史と伝統のまち川越において、落語の発展に寄与するとともに地域の活性化、文化的な振興を図るため、伝統的な話芸「落語」の地域寄席を開催する事業 ○蓮馨寺落語会（午後6時開場、6時半開演、8時30分閉会） 1回目：平成22年7月23日（金） 演者：古今亭志ん八、三遊亭歌太郎、三遊亭窓里 参加者：55人 2回目：平成22年10月29日（金） 演者：古今亭志ん八、三遊亭窓里 参加者：56人 3回目 平成23年1月28日（金） 演者：古今亭志ん八、桂三木男、三遊亭窓里 参加者：66人	
協働事業の決算額	200,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成22年 7月23日 ~ 平成23年 1月28日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準・・・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	3	3
3	事業目的を共有することができましたか。	前	4	4	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	5	4.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	2	3	2.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	3	3	3
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	3	3.5

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	4	4
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	4	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	3	3	3
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	3	3	3
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	51 点
------	------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <p>昨年度からの継続した事業であり、運営体制もしっかりしています。地元出身の落語家を中心に寄席を開催することで、地域性をもたせることは良いことだと思います。地域活性化のため、地元商店街やNPO、ボランティアと連携・協力して、今後も事業を発展させていくことを期待します。行政側も財政的には厳しい状況ですが、広報等情報提供に役割を担っていきたいと思います。</p>
<p>【市民活動団体等】</p> <p>昨年度に比べて、行政側への連絡も少しづつではありますができたと思います。蓮馨寺落語会は、回を重ねることによって、川越市に根付いた文化事業になってきているのではないかと考えています。今後につきましては、より行政側に情報提供を行い、スムーズに協働事業を実施していきたいと思っています。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 C
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	
<p>【事業に関するコメント】</p> <p>毎回参加者も多く、地域に定着したイベントになりつつあるのではないでしょう。特に、現在は震災の後ということもあり、心のゆとりが必要です。今回は、行政のかかわり方等について、コミュニケーションの深化が見受けられなかったようです。今後は、行政がどのように関わっていくのかを検討しないと協働事業としては課題があるのではないかと思います。</p>		

協働事業評価シート

部課名	福祉部 高齢者いきがい課	記入年月日	平成23年3月30日
記入団体名	かすみ野たすけあいの会		

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	地域の仲間づくり・たすけあい活動		
協働事業の概要	<p>〇地域の仲間づくり活動の実施 (1)「ふれあいサロン」の実施 実施日：毎月1回 実施場所：かすみ野自治会館 参加者数：各回40～50名程度 実施内容：地域包括支援センターのケアマネージャーによる講義 等 (2)「折り紙クラブ」の実施 実施日：毎月1回 実施場所：老人ホーム真寿園 参加者数：各回20名程度 実施内容：真寿園入所者と交流しながらの折り紙 (3) 健康体操クラブの発足（※平成22年11月から実施） 実施日：毎月2回 実施場所：かすみ野自治会館 参加者数：各回10名程度 実施内容：介護予防サポーター養成講座修了者による体操講座 (4) たすけあい活動の検討 地域住民による相互のたすけあい活動を検討し、地域住民を対象に支援内容、実施方法等のアンケートを行った。その後、実施に向け調整を行い平成22年10月からスタートさせた。</p>		
協働事業の決算額	63,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成22年7月～ 平成23年3月		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

〇評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	3	4	3.5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	3	5	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前	3	5	4
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	3	5	4
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	5	4.5
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	4	3	3.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	4	4	4
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	3	5	4

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	4	5	4.5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	5	4.5
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	58.5点
------	-------

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】
 今回の協働事業は、地域包括支援センター及び在宅介護支援センターを連携をとることにより、効果的に遂行できたと思われる。
 高齢化が急速に進む社会の中で、行政サービスでカバーできない部分をかすみ野たすけあいの会のような住民主導の活動でカバーしていくことが非常に重要になってくる。
 介護予防の観点から考えても、高齢者が地域の中で自ら役割を演じて人の役に立つことが、その人自身効果的な介護予防になる。また、「周りの人を元気にする仕組みを地域に作っていく」といったような地域に根ざした活動が、地域づくり・仲間づくり・たすけあいに繋がっていく。今後重要なのは、そういった住民主導の仕組み・活動を行政が支えていくということであると考えられる。ゆえに、かすみ野たすけあいの会のような活動を立ち上げるノウハウ・サロンの運営方法を市内全域に広げていけるように、今後ともこの活動が途切れることなく続けられていくことを願っている。

【市民活動団体等】
 この活動1年を振り返ると、都市地域の高齢社会（かすみ野の高齢化率は35.4%超）下の「活力ある街づくり」を進める運動の必要性はますます大きくなり、その運動の一端に立って、皆さんとともに活動していく必要性を感じる。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】
 日々の不自由や困難は、行政サービスで解消されるものが多いが、すべてを完全に行政によってカバーされることはありません。その場合は、地域が行政に代わって大きな力を発揮することが重要です。本事業は高齢社会の中で、地域住民相互に助け合おうという意識を共有化しようとする点で有益な事業です。今後は更に行政と連携しアドバイスを受ければ、より円滑に事業を進めることができるのではないのでしょうか。

協働事業評価シート

部課名	総務部 防災危機管理課	記入年月日	
記入団体名	川越市自主防災会連絡会	平成23年3月22日	

予算事業名	協働の推進（提案型協働事業補助金）	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------------------	--

協働事業名称	災害時における自主防災啓発事業		
協働事業の概要	市内の自主防災組織で統一した“災害時における対応の仕方”について、啓発チラシを作成し、市民への啓発活動を実施。万一の災害時において自主防災組織のリーダーが着用する防寒着を作成。 ・平成22年9月：災害時用防寒着の作成 ・平成22年10月～平成23年1月：啓発用チラシ検討 ・平成23年2月：啓発チラシ印刷（15,000部） ・平成23年3月中旬：啓発チラシの自治会回覧		
協働事業の決算額	200,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成22年9月～平成23年3月		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	①

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評価点		
			行政	団体	平均
1	協働事業について、互いの持つ情報を共有することができましたか。	前	5	5	5
2	適切な回数の打ち合わせをすることができましたか。	前	4	3	3.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	前	4	3	3.5
5	事業の実施回数、参加人数等は、計画どおり実施することができましたか。	中	4	4	4
6	事業の進捗状況や事業に関する情報を共有しましたか。	中	5	4	4.5
7	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	中	5	5	5
8	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	中	4	4	4

（評価のつづき）

No.	評価の視点		評価点		
			行政	団体	平均
9	事業の目的・目標を達成することができましたか。	後	5	5	5
10	市民ニーズは反映されましたか。	後	4	4	4
11	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
12	互いの特性が発揮できる等、協働によるメリットはありましたか。	後	5	5	5
13	地域課題が解決する等、市民満足度は高まったと思いますか。	後	4	4	4
14	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	62点
------	-----

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】 大規模災害が発生すれば、防災行政機関は、その機能を十分に発揮することは困難になることが予想されます。防災危機管理課では、地域住民の自主的な防災活動に期待をしており、これまでも広報やホームページを通じ防災啓発活動を行ってきたが、その効果は充分であるとは言えません。今回、市の防災対策に関する情報を、より地域住民に近い市民団体から伝えるという面で、大きな効果が期待できます。 また、万一の災害時には、地域の自主防災組織のリーダーが統一された防寒着を着用でき、防災行政機関もその存在を確認し易くなる等、情報収集や連絡体制に大きな効果が出ると思われます。</p>
<p>【市民活動団体等】 万一の災害時にどのように対応すればよいかを地域住民に周知することができました。これにより、地域の自主防災会に対しても協力してもらえるのではないかと考える。 啓発チラシの作成にあたっては、市の防災対策に関する情報を、十分に盛り込むことができ、大きな効果が期待できる。 また、災害時に地域の自主防災会リーダーとして、目印となる防寒着は、そのような事態が起こってしまった場合に大きな効果を発揮すると思われる。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】
 市民が自主的に市民目線で防災啓発活動を行うことは広く市民の利益になると考えます。また、東日本大震災の発生により市民の防災に対する意識は、より高まったと考えられます。
 災害発生時に、行政と市民の連携は欠かせません。本事業のように啓発活動の段階から市民と行政が連携することで、万一の災害発生時において効果が発揮されます。このような活動を継続し、より充実させて広く市民に周知するのを協働で行うことは意義深いものがあると考えます。